

平成24年

夏の交通安全運動

7月19日(木)～7月28日(土) 北海道実施要綱



観光や夏型レジャー等に伴う事故防止をはじめ
以下の活動等を推進する

運動の 重点

- 登下校中の児童・生徒と高齢者の交通事故防止
- 居眠り、飲酒運転などの観光・レジャー型交通事故防止
- 二輪車・自転車乗用中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用

全道統一行動日 / 7月19日(木) セーフティコール

主催

北海道、北海道警察、北海道教育委員会、札幌市、市町村、公益社団法人 北海道交通安全推進委員会
財団法人 北海道交通安全協会、社団法人 北海道安全運転管理者協会

ストップ・ザ・交通事故死

《めざせ 安全で安心な北海道》



運動の目的

交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、道民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図る。

運動の進め方

道、道警察、市町村をはじめ、関係機関・団体などは、緊密に連携し、体系的かつ効果的な交通安全運動を展開するとともに、参加・体験・実践型の交通安全教育を推進する。

通年運動 7大セーフティキャンペーン

- 高齢者事故防止
- 自転車走行ルール・マナーアップ
- シートベルト全席着用
- スピードダウン
- 飲酒運転根絶
- 居眠り運転防止
- デイ・ライト実践



運動の重点

登下校中の児童・生徒と高齢者の交通事故防止

運転者は

子どもや高齢者を見かけたら、飛び出しなどを予測し、徐行するなど思いやりのある運転をしよう。

高齢者は

参加・体験型の講習会などに積極的に参加し、自分の身体機能の変化を認識し、安全な行動を実践しよう。夜間外出する際は、明るい服装と夜光反射材を身につけよう。

家庭では

子どもと一緒に通学路などを歩くなどして、交通ルールの手本を示し、マナーを身につけさせよう。

学校などでは

通学路での交通安全指導を徹底し、特に登下校時の児童・生徒の安全を確保しよう。

地域では

登下校中の児童・生徒や歩行中の高齢者の安全な横断を手助けしよう。

居眠り、飲酒運転などの観光・レジャー型交通事故防止

運転者は

長時間の無理な運転はしないで、2時間毎に1回以上の休憩をとろう。飲酒運転の危険性や責任の重大さをしっかりと認識し、飲酒運転を根絶しよう。

家庭では

運転者が眠気を感じたら安全な場所で短時間の仮眠をとろう。飲酒運転の危険性や交通事故の悲惨さなどについて話し合い、飲酒運転を根絶しよう。

職場では①

運転するときは、しっかりと眠気を覚まして運転するよう指導しよう。疲労や睡眠不足にならないよう体調管理に気をつけて、ベストコンディションで安全運転を実践しよう。

職場では②

飲酒運転の危険性や責任の重大さをしっかりと認識させよう。企業の責任として、ハンドルキーパー運動を展開するなど、飲酒運転の根絶を徹底しよう。

地域では

眠気を起こしやすい単調な道路などで、啓発活動を実施し、事故防止を呼びかけよう。飲食店などでは、運転者への酒類提供の禁止を徹底させよう。

二輪車・自転車乗用中の交通事故防止

運転者は

交差点などでは、歩行者だけでなく、二輪車や自転車の有無もしっかり確認しよう。

二輪車・自転車利用者は

ツーリングでは、余裕のある安全な計画をたてよう。自転車に乗るときは、車道では車の動きに注意し、歩道では歩行者優先を守り、安全に利用しよう。

家庭では

子どもを自転車に乗せるときは、ヘルメットを着用させよう。交差点での確認方法など身近な道路で具体的に指導しよう。

学校などでは

自転車の通行方法や夜間における前照灯の点灯など、自転車の正しい利用の仕方を身につけさせよう。

地域では

二輪車・自転車の安全な乗り方について街頭啓発などを実施するとともに、自転車の危険な乗り方を見かけたら注意しよう。

全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用

運転者は

全ての座席の同乗者全員に、シートベルトとチャイルドシートを正しく着用させよう。

家庭では

出かけるときは、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しているか、みんなで確かめよう。

学校などでは

全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの必要性について理解させ、実践するよう指導しよう。

職場では

職場ぐるみで、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用100%を徹底しよう。

地域では

シートベルトとチャイルドシートの着用効果や全席着用の必要性などについて啓発しよう。

居眠り運転防止～2時間毎に休憩しましょう～

デイ・ライト運動を実践しましょう。